

# 相対位置の規格化に向けて

2022年1月20日

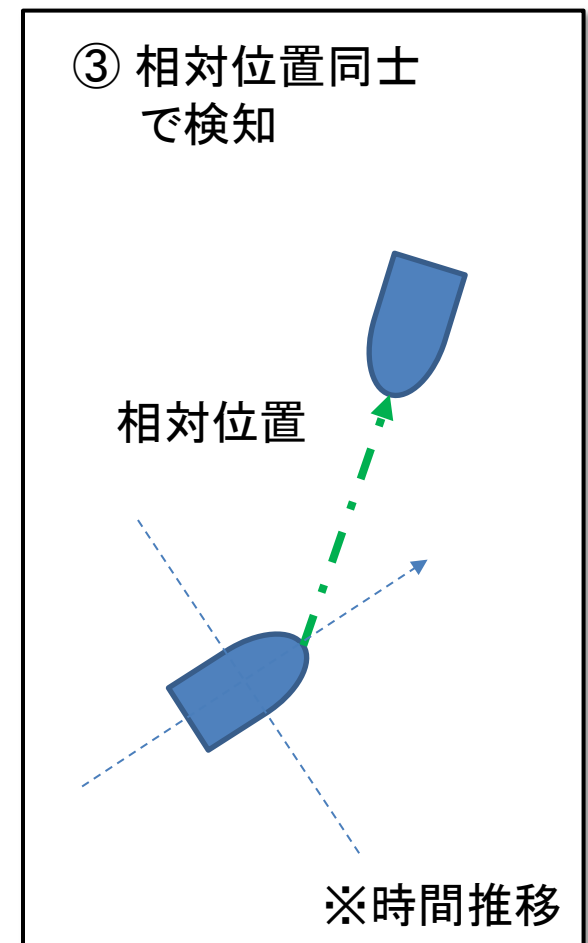
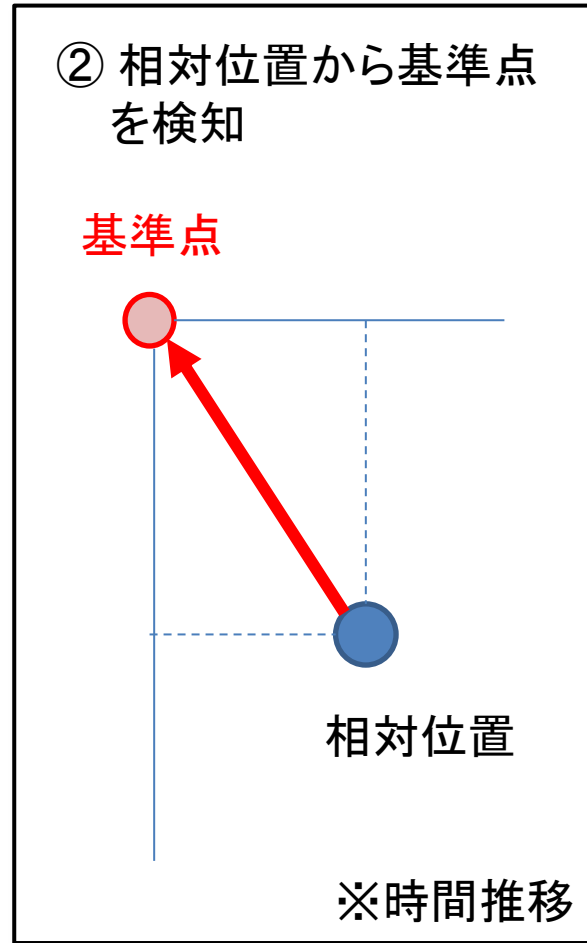
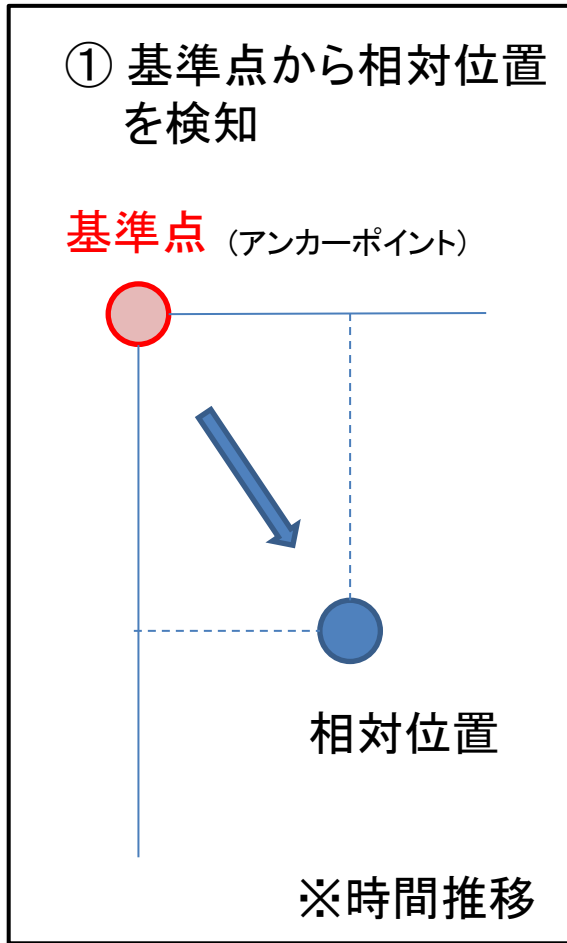
高精度衛星測位サービス利用促進協議会(QBIC)  
標準化WG

# 相対位置情報の標準化

産業の現場では、相対位置の利用が有効であることが多いので標準化を検討する。

議論 -絶対座標との関係を考慮する必要がある。測量法11条を参照する。

-実際のユースケースとの関係を明らかにする。



# ユースケース事例

## ■ (2) 狭域ネットワーク：路側処理方式2【パナソニック】

JARIつくばテストコースにおいて、下記の試験環境を構築し、装置接続確認・KPI評価を実施



出典：「SIP第2期自動運転（システムとサービスの拡張）」  
 令和2年度研究開発「狭域・中域情報の収集・統合・配信に係る研究開発」概要版より  
<https://www.sip-adus.go.jp/rd/>  
<https://www.sip-adus.go.jp/rd/rddata/rd04/207s.pdf>

## – QBIC 10101 第2版(案) 添付資料参照

(これまで得られたコメント)

- 日本の提案した ISO/IEC 18000 ucode を使えるようにしては、ID が 128ビット あり拡張が必要。